

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気株式会社
(NECグループ)



20年以上にわたる
車いすテニスの支援

障害者スポーツの迫力や魅力を より多くのひとに伝えたい

日本電気株式会社は、すべての人が豊かに生きる社会の実現に向け、障害者スポーツの普及や、社会の理解促進などを目的に、国際テニス連盟（ITF）が主催する世界選手権「NECマスターズ」（平成6年開始）と世界ツアー（平成4年開始）を、20年以上にわたって協賛しており、日本チャンピオンを競う「NEC全日本選抜車いすテニス選手権」（平成3年開始）も初回から継続して協賛している。

また協賛のみならず、世界各地のグループ社員がボランティアに参加し、運営スタッフや線審を務めている。

この20年で、ITFが主催する世界ツアーは平成4年の11大会から160大会にも増加。車いすテニスは、ITFが毎週世界ランキングを更新するなど、健常者のテニス同様の取組があることから、障害者スポーツの中でも最もシステム化が進んだ競技のひとつとなっている。

平成27年、この長年にわたる車いすテニス支援の実績を活かし、「NECパラスポーツ応援プロジェクト」として活動を刷新。2020年に向け、より多くの人々が障害者スポーツの魅力を体感し、また障害の有無にかかわらず誰もが好きなスポーツをするコミュニティが世界に広がるよう、映像配信やイベントを通して、障害者スポーツを楽しむコツやルールなどを幅広く伝えていくプロジェクトを開始した。



世界トップクラス選手の華麗なショット



大会運営ボランティアを務める社員

企業
DATA

所在地
港区

業種
情報通信業

総従業員数
約 99,000 名
(連結)

ユニバーサル社会の実現に向け、
率先して障害者スポーツを応援

20年にわたる車いすテニス支援の実績を活かし 「NECパラスポーツ」※応援プロジェクトをスタート

※障害者スポーツ全般のこと

映像を通してパラスポーツの魅力や迫力を伝えたいと「NECパラスポチャンネル」を開始。
<http://jpn.nec.com/community/ja/diversity/paraspo.html>

まずは社内の変革からと考え、社員向けのスタートアップセミナーを開催。社員にパラスポーツを取り巻く現状や課題を知ってもらう機会として、また社会価値創造企業の一員としての誇りや使命感の醸成、2020年に向けたボランティアマインド（地域社会貢献活動への参加意欲）の醸成につなげてもらおうと企画したもの。パラリンピアンを講師に迎え、NECや社会に期待すること、体験談などを講演。参加者からは「障害に対する考え方、見方が大きく変わった。」など、気づきや自身の変化を示す感想も多くみられた。



① 強化スポーツチームの活動

日本のスポーツ界への貢献、企業広告の目的のみならず、地域社会への貢献やブランドの醸成、企業価値向上を目的として、NECレッドロケッツ（女子バレーボール）、NECグリーンロケッツ（ラグビー）を運営。選手は、大会出場のみならず、オフシーズンには学校や公共施設などでスポーツ教室を開催している。

② 社員の地域貢献・ボランティア活動

創立100周年（平成11年）にスタートした、全世界のグループ社員が世界各地のコミュニティで実施している地域社会貢献活動。拠点・会社ごとに活動推進役を任命し、地域社会の実情に合ったスポーツを含む活動を企画・推進している。

③ NEC Health Innovation 21 (健康増進活動)

参加する社員がウォーキングやエクササイズなどを行うことでポイントを貯め、貯めたポイントを記念品の交換や社会貢献に還元できるといった仕組み。社員が楽しみながら健康増進を図れるよう工夫している。



その他の 取組

STAFF'S VOICE

車いすテニスの大会では、より多くの人にその迫力や魅力を知ってもらいたいと、試合のインターネット生中継やプロモーション映像の制作を行ったこともあります。また、社員が中継や得点入力業務、選手へのインタビューを担当する活動も取り入れられました。これからも車いすテニスを長年支援してきた実績とブランドを強みに、NECグループ一丸となって、2020年に向けパラスポーツを応援していきたいと思っています。